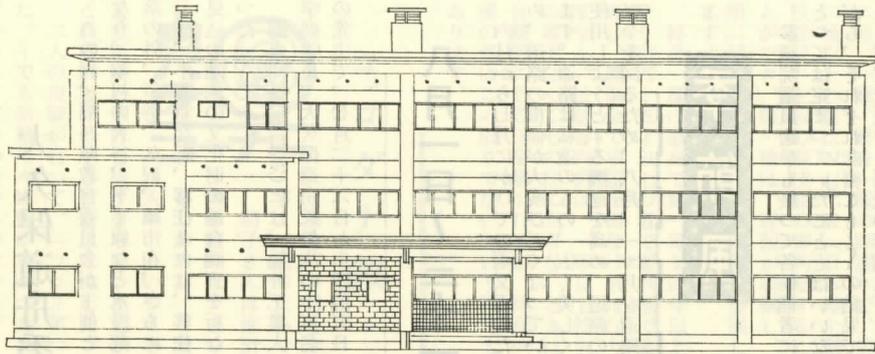


(図は、すでに着工している朝日中学校校舎の完成予想図)



鉄筋コンクリート三階建

朝日中学校校舎の改築始まる

懸案の朝日中学校は電源開発に伴なう生徒増のため改築予定のところ、七月二十日、入札により業者も決まり着工しました。

『和泉村史』本格的に着手

京大、小葉田淳教授ら十名で

昨年来、調査しております「和泉村史」の作製については、村民皆様にご協力をいただいておりますが、今度京都大学教授、小葉田淳先生を監修に次の先生方を委員として、本格的作製に着手しました。

- 監修 委員 京大教授、小葉田 淳 鈺山関係
- 委員 (歴史編) 名大教授、澄田 正一 考古学
- 京大助手、熱田 公 古代、中世
- 大阪学芸大教授、宮川 満 近世
- 藤島高教諭、印牧 邦雄 近代
- 福大助教授、杉本 寿 山林
- 新潟大、井上 鋭夫 宗教
- 福大助教授、大西 青二 地理

○ 広報は、家族みんなで読みましょう。



発行所 福井県大野郡 和泉村

(昭和40年7月1日現在)

村の人口	8人
出生	127人
死亡	86人
転入	4,053人
転出	2,067人
総人口	1,986人
男	1,138人
女	848人
世帯数	1,138世帯

村の面積 332.26平方km

今月の目標

夏の保健衛生につとめましょう。

子供の水難事故防止に協力しましょう。

第二の越県合併



京大大学院、小村健太郎 大阪市大教授、平山繁次郎 民俗

昭和三十三年町村合併が行われた際隣村石徹白村の大半は岐阜県に越県合併した。当時このことは県政の大きなミスとして県民一同これをかなしんだ。今度と泉村の大半が水没するに当り、約九割までが越県移住した。此事実を越県合併に等しいものと見るのはまちがいだらうか。敢て越県合併と申した。かつての石徹白村の越県合併には県も県議会もある程度つくす手段はつくされたことを記憶している。今度の越県合併についてはなりをひそめて語らないようである。

そこで何が故に越県合併が起るのであろう。福井県にとつて好ましいことでは無いはずなのに雪が降るせい、交通が不便なせい、縁故関係のせい、然し福井県どこもかしこも和泉村のように雪が降るわけではない。交通もまたしかり。縁故関係だつて福井県



内にも多々あるはずだ。いやそれ以上に切つても切れない明治以来それ以前からの政治や経済のつながりもあるはずだ。ああそれなのにそれなのに何故和泉村の近所隣の村や人達が越県なされるのでしょうか。そこに何かがある、筆者にはつきり分らない。されど越県した人達の時にふれて出る言の葉に「福井県にはようあいた」、そこからうかがえる二つの意味があるように思う。

一は地勢風土からくるもの、今一つは政治的人情的なもの、だとすると特に後者に大きな問題点があると思う。それはへき地として軽ろんぜられた、山家の人間として侮られがちであつたとのながい間の感情が無意識の中に蓄積され越県形になつて現れたように思えてならない。

事実、此度の電源開発問題についても、県当局は福井県政の大収穫であるように誇らしげに報道なさつてはいるが、水没住民の為に親身になつて激励と指導をおしまない親切さがあつたかどうか、又大きな政治力、大きな地域の利益の為に、小さな政治力も知識も乏しいへき地の犠牲を十分考慮して後援をおしまなかつたかどうか。ともかくも福井県にとつても大きな利益をもたらす事業でもありますので、残つた和泉村の再建にも一度ならず御巡視下さつて御激励御指導を賜りますようお願いいたします。

穴馬民俗資料を総合調査

大久保道舟委員長ら十六名

この程、福井県教育委員会が主催となり、本村の大谷、下半原など水没部落の外、伊勢、久沢、東市布、さらに三面、小谷堂など、移住または、移住見込の地域の文化財の総合調査を行なった。

調査団長(委員長)には、福井工業大 学副学長、大久保道舟氏外次の十五名の先生で、七月二十六日から四泊五日

の調査を開始した。

水没地域については、殆んど移住されて調査は困難であったが、伊勢、久沢、東市布、三面、小谷堂などの部落の方々には、卒先協力していただき、調査の先生方も、大変喜ばれて、三十日の三面、小谷堂を最後に、一応引揚げられた。

なお一部残された部分は十月一杯まで完了し、年内には調査報告書が出来る予定になっています。

八月一日〜三十一日、道路愛護月間

六月から七月にかけての雨又雨のため、道路の損傷が大変ひどくなっています。道路は私達のもの、広く美しく使用しようとする機運を高め、道路の保全を図るため、八月、一カ月を道路

愛護月間と定めました。各区長さん宛、実施要領を、お知らせしてありますので、皆さんの御協力をお願いいたします。

季節風

参議院議員選挙も終つて各候補者にとつては定まつていたことはいいながら、それぞれ悲喜こももとの結果であるが、厳正なる国民の審判は、下されたわけである。各諸先生方は今後公約にもとづいて国民の求める政治に最善を尽していただきたいと念願するものであります。なお、日々、新聞その他で選挙違反が何件、逮捕何人、と報じられているが、その中には国の機関、または、地方公共団体の職員も多く見られるようである。利権その他理由は

色々あると思われるが、中には上役から圧力的に又その人の弱点をおされて苦しんだような人も有つたのではなからうか。他人の泣き所を利用する様な選挙運動は真つ平で、ほんとうに信頼して投票の出来る選挙運動が望ましいものである。

さて、今度は九月、後一カ月に迫つた和泉村議会議員の選挙である。電源開発工事軌道に乗り補償事務のほとんどが終り、今後開発工事の進むにつれて和泉村の新しい建設計画が本格的に進められることで、今後四カ年間は最も村民にとつて重大関心の寄せられる期間であろうと思う。公共施設の整

○ 最近の日本の総人口は、九、七一九万人(三九、一〇、一現在推計)

委員 佐久 高士 福井県文化財専門委員

委員 吉田 森

委員 斉藤 概堂

委員 杉原 丈夫

委員 野村 英一

委員 山田 誠一

委員 堀口 亀次郎

委員 窪田 彦左エ門

委員 東谷 薫

委員 堀口 秀雄

委員 吉川 文次

委員 重松 明久 福大助教授、文学博士

委員 高瀬 秀正 大和小校長

委員 佐々木 徹 県立図書館長補佐

(写真は役場における打合せ)



人のうごき

- 【出生】 (六月分)
- 伊月 田中 洋 東洋長男
 - 下半原 中森 靖生 利久二男
 - 野尻 古川 正典 千覚長男
 - 下半原 安藤 幸代 建三長女
 - 朝日 山田 延江 薫 長女
 - 川合 平野 千亜希 明 長女
 - 下半原 中山 武志 森広二男
 - 上大納 村上 美有里 政幸二女
- 【婚姻】
- 大谷 岐阜県吉城郡古川町 川合すま子 美濃島俊二
 - 鹿兒島県日置郡伊集院町佐伯 池尾 淳子
 - 福井市錦町 伊勢 古嶋みち子
 - 大野市平沢領家 八幡 勝見

- 東市布 宮下 佳子
- 朝日 山田 浩一
- 大野市菖蒲池 南川 恭子
- 荷暮 三島 剛
- 岐阜県羽島市竹鼻町 小川百合子
- 東市布 酒井 隆
- 福井県遠敷郡名田庄村 嶋田 絹栄
- 荷暮 三島 博
- 新潟県中頸城郡板倉町 古海 愛子
- 上大納 原田 勇
- 上大納 大野イサヨ
- 上大納 小田上 昭
- 上大納 藤巻美代子
- 上大納 久中 尚介
- 上大納 村井百合子
- 上大納 関口 源久
- 上大納 由谷 幸子

ひとくち話

親父「大きいツウタイしやがつて仕事は半人前もできないくせに」

息子「エヘン、国勢調査じゃ一人前なんだい」

◇

穴馬へ始めて訪れた客人

「こんな山の中に、店でも、映画館でも、何でも揃っているのには、ビックリしたが、道の悪いのにも往生した」

穴馬哲人

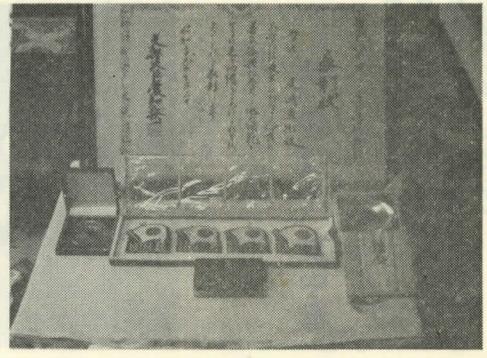
「なにあに、穴馬の道路は、穴馬娘のようにな、素材で、可愛らしく、エクボエクボしているんですよ」

尾崎直樹氏に

終身一種公認審判員(陸上)認可さる

公認審判員は陸上競技に限った事ではないが、他に比べて歴史は古い。しかし一般にはあまり知られていないようである。写真に示すマークは第三種二種、一種、終身一種の四通りで、第二種以上の者はN.R.R. (日本陸上競技連盟) 主催の競技会の審判をするこ

とができ、第一種は、連盟が委嘱し、第二種、第三種は、加盟団体が委嘱します。終身一種は最高で第一種を四年以上やり満四十五才以上の者で審判部で審査し、理事会で承認を得なければなりません。公認審判員は、一年以上特別の理由なくその任に当たらないときは自動的にその任を解かれるが、終身一種の者はこの限りでないという規定もあります。



写真は文部大臣の表彰状と左は記念の文鎮、マーク、と県体協からの銀杯

競技会にはN.R.R.の定めるバツジ(委嘱された年号を記入)を佩用すると規定されており、マークは第三種が緑二種茶、一種紺、終身は黒と色分けされているが、現行は、第三種は茶、第二種は煉瓦色を用いている。記録の公認は、公認のグラウンドで公認審判員によつて計測されたもののみ認められる、ただし、風速の程度により参考記録とされる。グラウンドも規模施設その他によつて第一種から第四種に分けられてはいるが、本県には第二種が一つあつたのみだが去る五月一日第一種が誕生した。従つて一つの記録が生れるまでにはいろいろな条件が必要となつてきます。第二十三回国体を控えて本県でも、公認審判員の養成や訓練に努力しつゝあるが、未だ

の感がある。終身審判員は本県で数名。大野郡、市では、ここに登場した尾崎直樹氏一人である。大きな大会で主要ポストを勤められるまでには第三種から長年かからねばならないが、それとて最高

の感がある。終身審判員は本県で数名。大野郡、市では、ここに登場した尾崎直樹氏一人である。大きな大会で主要ポストを勤められるまでには第三種から長年かからねばならないが、それとて最高

位に迫りつく者は極めて少ない。その人がかつて競技を行つたとか、行つていのか、記録保持者だからとかのみでは、公認審判員となることはできない。上の写真、マークの所有者は、「終身一種公認審判員」尾崎氏であり、四十年近くこの道を歩んできつた。昨年十月三日、全国から選ばれた四十三名と共に体育功労者として晴れの表彰を受けた。氏は「スポーツ一すじに生甲斐を感じている」とも、もらしているが、名を追う人々の多い中に、羨ましくもまた、尊い心境ではある。

ココダナ教



—あら、今月も赤字よ、困つたわ。明子さんは家計簿を開いて、まゆをしかめた。ご主人の、といつても

まだ新婚の気分も抜けきらない正君がどれどれと、のぞきこむようにした。二人の視線が合つて、ニツコリ笑つた。—でも結婚早々出費が多かつたんだからキミだけのせいじゃないさ。—それはそうだけど。ふたりに、これから家計をひきしめ

てゆこうと、暗黙の誓いがかわされたとき、入口の戸をひそかにたたいて、夜の来客があつた。

新世帯を持つてから、この新しい家を夜訪れる客は、マレだつた。ふたりは顔見合せて、いま時分だれだろう? というサインを示した。

正君が立つて入口の戸をあけた。この村は、いま選挙運動のまっ最中だつた。候補者は互いにしのぎを削り火花を散らし合つていた。この新世帯の訪問者は、この中のひとりの運動員だつた。

—おிரいって、とその男は言つた。—これはほんのごあいさつですが:

見ると、ある店の商品券だつた。明子さんの頭の中で、ブラウスや、おしやれ下着や、化粧品がクルクルとひらめいた。

—でもそんなことは、できません。正君は押しかえした。しばらく押し問答の末、男はチエツと舌うちして、荒々しく帰つて行つた。正君は村の農協に勤めていて、村内を廻ることや、世話をすることが多い役がらなので、この運動員は、とくに金額をはずんだものと見えた。

あとで、ノドから手がでそうだったよ。と、正君が言い、明子さんも、—私だつて...と、うわ目を使つた

子供に、楽しい思い出となる夏休みを



▲暑中休暇—何となつかしい響をもつことか、この言葉で連想されることは青く澄み切つた空、そこに突き立つ緑の山々。赤・黄・緑・色とりどりのビーチパラソルの花咲く海。まことにスガクしい思いである。近頃は学校ばかりでなく経済企業体でも、一週間、十日と暑中休暇を持つ会社もあると聞く、誠に望ましい姿ではある。▲或は暑中休暇イコール暴力シーズン、事故シーズン、不良化シーズン、水難シーズンと嫌な数々が大映しになつて表面にでてることも事実である。▲和泉村にも小中学校の子供たちには待望の暑中休暇が訪れ、明るく、たのしいことを胸に描いて毎日を送つていふことであろう。このたのしい夢を破らぬよう見守つてやるのは大人たちで、どの大人もその気持をもつていなければならぬがとりわけ身近な大人、即ち親、兄弟、近所となりの方々が最も強くもち、そして、積極的に働いてやらねば子供たちの夢は、忽ち破られてしまうのではなからうか。一人一人の子供の近親者が、しつかり子供を護つてやるはたらきをすれば、随分沢山こどもを護つてくれる大人ができて、子供たちは美しい思出を残す休暇となるであろう。▲家事多忙で久しく子供と食事を供にしたことがない、とか、吾子がいつ寝ていつ起きて学校へ行くかも知らぬ、など普通では考えられぬ事態を聞かされ

—ココダナ教つて、なあに? どんな宗教? と、いぶかしげにたずねた。—何か心に迷いが生じたとき、下腹にグツと力を入れて、ハハアン、ココダナ? と自省するのさ。迷いはたちどころに消える。明子さんも笑つた。そして今から、夫と共にココダナ教の信者になろうと決心した。

○ 世界の総人口は、三十二億人(一九六三年国連推計)

(四頁につづく)

農作物に警戒警報

異常気象に伴なう農作物管理

▲水稲▼

◎激発葉イモチ病対策
必ずブラエスM粉剤を、反当り四畝を雨のやみ間を見て二〜三回散布すること。

(注) 目に薬剤が入らない様に注意する。

◎穂首イモチの防除の徹底
葉イモチから穂首イモチに移行するから、必ずクミスイ粉剤を「はしり穂の出た時」「穂揃期」「傾穂期」の三回散布し、葉イモチの甚だしい所は四〜五回散布すること。

◎イネ青虫(フタオビコヤガ)の防除
早期に発見し早期にBHC三多粉剤を散布すること。

◎根腐れ防止対策
穂孕期から出穂開花までは水が多く必要であり、反面高温による根腐れ防止のため、三日毎に水を入れ変えたり掛流しが必要である。

▲蔬菜▼
◎キユリ、スイカの病害防除
ポルドー粉剤を五日毎に葉裏に散布するとよい。

◎ニンジン、カンラン、白菜の播種上の注意
(1)土壌が湿っている時に播種すること
(2)播種後土し、その上に切り藁を撒いてからDDT粉剤を散布しておくこと
虫害予防になる。

▲林業▼
◎杉苗木の赤枯病について
苗木の病害として最も被害甚大で恐

ろしい伝染病である。

(1)防除は四〜四式ポルドー液を散布すること。八月二回、九月一回は必ず消毒する。

(2)罹病苗は早期発見して焼捨てる事が大事である。伝染早く畑全面に広がる恐れあり。

◎造林地の手入れについて

折角多大の労力、費用を投じて植栽しながら、その後の手入れを怠るために育たなかつたり、枯れたりしない様に完全な手入れこそ植樹同様極めて大切な事である。

特に下刈等は大切で、植栽二、三年は六月と八月に二回実施するか出来なければ七月中か八月上旬迄に必ず一回下刈を行うこと。

詳細は各指導員に相談して下さい。

悪人の子必ずしも悪人ならず

更生保護婦人会と朝日中学P.T.A共催の講演会

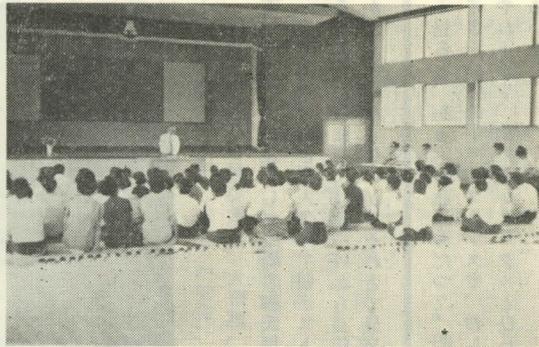
七月二日P.T.Aの総会を機会に、福井保護観察所総務課長加古美広先生の実に有意義なお話しを聴くことができた。お話しは空理空論でなく、罪を犯した人達の各方面にわたつてのくわしい調査や統計事実に基づいた事例で聞いていても胸を強くさすものがあつた。

日頃あまり気にもかけなかつた性教

○ 広報は、として保存しましょう。

育の問題・更には胎児教育とそれ以前の問題・悪人の子必ずしも悪人ならず等・遺伝と環境の問題・そして又一度罪を犯した人間を更生させることは社会にとつて如何に必要であるかの問題など、家庭教育上、社会教育上とかくなおびりにしており勝ちだつた父親母親達も目ざめ業を飲まれたような思いで、強く感銘深く反省した様子であつた。

熱心に聞き入る朝日中P.T.A会員



夏の衛生

かぜ、寝びえ、食中毒

夏のかぜはなかなかおりにくいです。かぜをひくのは汗ばんだり、昼寝をしたり、夕方涼しい風が吹きこむ室ではだかでいたりすると、ひきこむ場合が多いようです。



こればぬ先のつえ

夏は、服装も、戸締りも、開放的となりませんが、この時期には、婦女暴行事件や、どろぼうなどが、多くなりま

とくに女の人は、暑いからと言って胸も、あらわな、服装を、しないように、つつしむべきです。

又暑いからと言って、家をあけっぱなしにして、外出したり、あけっぱなしにして、ねることの、ないように、充分注意して下さい。

狙われてしまつてから、どろぼうに入られてしまつてからでは、遅いのです。ころばぬ先のつえ、が肝心です。

寝びえも、むし暑い寝苦しい宵のうち、かけぶとんを知らずにはいできてしまつたり、寝まきの前がはだけてしまつたりして、ひきこむことが原因です。

夏かぜや寝びえをふせくにはかならず寝こんでも、空気に皮ふをさらさないように、適当な衣類をまとうことがまず第一です。

小さいお子さんは、やはり両親が気をつけてあげるほかりません。腹まきをさらう子がありますが、寝るときはかならずさせる習慣をつけましょう。しかし日中とか、起きているときまで腹まきをするのは感心しません。同時に汗がでたときはよくふきとつてから休むことも大切です。

(三頁からつづく)

ることもある。悲しい物語ではないか父が大学教授、母は社会的顕職にあり両親多忙から親子の交流が疎遠になつて、親の地位をよそに子供の気持は荒み、遂に流血惨事を起して両親ともにがく然となり職を去つた実話は、まだ耳に新しいところであろう。ひとごとでなく考えたいもの。▲七月二十日付福井新聞は、五月から七月までの村内事件を、窃盗九件、住居侵入五件、暴行、傷害三件、詐欺、器物破損各一件計二十六件を報道している。工事前は皆無だつたのに……大都市での件数なら驚くに足らぬ数字だが、吾が村では一世情の悪化がマザァー見せつけられる。▲こんな中で後日思い出多き夏休とするため各位の自覚を促したい。

食中毒は、まだまだ気をつけなければなりません。とくに魚や肉類は、少しでも変だと思つたら絶対に食べないことです。冷蔵庫の過信もいけません。かまぼこ類のようなませあわせ食品にも十分注意いたしましょう。

あとがき

じい——というせみの声を聞くと、暑さを一人に感じる反面、朝夕の風がいくぶん涼しくなつたかなあーと季節の移り変わりの微妙さにおどろく。

さて、昭和三十七年以来、本紙(いずみ)編集委員として、ご活躍いただいた元大納小学校長出村清一氏は、本年四月乾側小中学校長に榮転されました。なお後任に、下大納、松田忠直氏が就任、編集を続けております。